

## ■ 事業のセールスポイント

多極分散型の都市構造による非効率な都市経営を解決するため、各分野に分散している各種データを連携させる相互運用性を確保したオープンなデータ連携基盤を整備し、そのデータを基に全体最適化された民間サービスや行政サービスを提供することで、便利に安心して暮らせるまちを目指す。

## ■ 位置図



## ■ 対象区域の概要

対象区域:市全域  
面積:305.87km<sup>2</sup>  
人口:65,925人

(R2年4月1日現在)

## ■ 対象区域のビジョン

先端技術を活用し、便利に安心して暮らせる持続可能な都市

人間中心に全体最適化されたまち



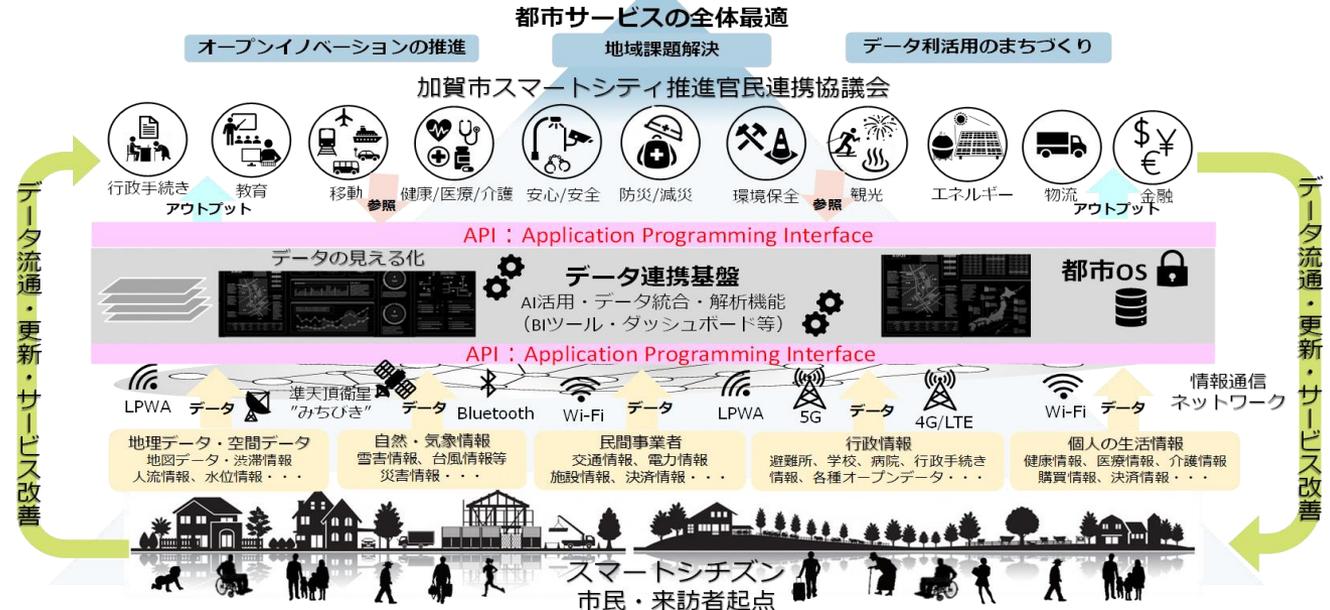
## ■ 本事業全体の概要

「スマートシティ加賀」で目指す方向性

住民の生活の質の向上

来訪者の満足度向上

稼ぐ力の向上



## 人間中心の未来社会の実現 に向けた「スマートシティ加賀」3つの戦略

### 1. デジタルファースト

- ・官民の横断的なデータ連携による都市の最適化
- ・セキュリティの高い個人情報保護の強化
- ・市内手続きのワンストップの実現
- ・キャッシュレスの推進

### 2. クリエイティブ

- ・先端技術関連の起業誘致及び起業家の育成
- ・市内産業分の先端技術の活用による付加価値向上
- ・観光データ活用による観光産業の活性化
- ・MaaSを活用したナイトタイムエコノミーの推進
- ・自治体新電力を活用したRE100の推進

### 3. スマートシチズン

- ・デジタルガバメントの推進及び市民の行政参画
- ・STEAM教育の強化
- ・データを活用したEBPMの推進
- ・先端技術を活用したレジリエントな都市の構築
- ・医療・福祉・健康分野のデータ活用によるフレイル予防の推進
- ・働き方改革の推進
- ・SDGsの推進

## ■ スマートシティの目標(KPI)

### 【住民の生活の質の向上】

- ① 住みよい生活環境の構築による移住定住の促進  
(転出超過者数 (H30) 230人 ⇒ (R6) 100人)

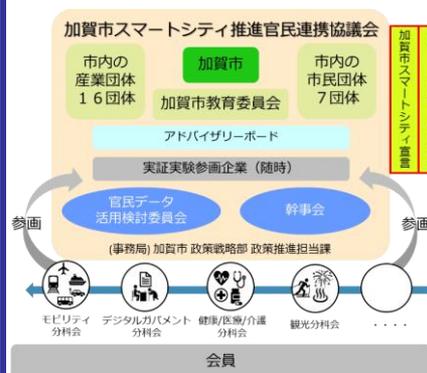
### 【来訪者の満足度向上】

- ② 観光客の満足度向上による来訪宿泊者の増加  
(宿泊観光客数 (H30) 176.7万人 ⇒ (R6) 200.0万人)

### 【稼ぐ力の向上】

- ③ 産業創出による付加価値額の向上  
(粗付加価値額 (H30) 43,769万円 ⇒ (R6) 50,000万円)

## ■ 運営体制



令和元年8月に、市民をはじめ、市内の産業団体や市民団体と共に「加賀市スマートシティ推進官民連携協議会」を設立した。

本協議会を通して、人間中心の未来社会の実現を目指した「スマートシティ加賀構想」の策定のための意見聴取や、「加賀市スマートシティ宣言」を行い、官民一体となりスマートシティを推進する。

本協議会には、課題・技術に応じて、関係企業・団体により構成された分科会を設置する。

## ■ 導入技術

### ドローン管制システム 高精度3Dマップ

複数のドローンを安全に自動飛行ができる管制システム。位置や高さ情報を持つ点群により構成された高精度(誤差10cm未満)の立体の地図データを利用する。



無人飛行ドローンを外出自粛時の配達、災害(雪害)時の物資運搬、有害鳥獣の監視、高齢者・子どもの見守り、インフラの維持管理等に活用する。

### デジタル身分証アプリ

マイナンバーカードと連携し、スマホで本人認証をすることができるアプリ。連携するサービスを利用する際に、安全に個人認証・電子署名ができる。



個人情報の登録が一度のみで、各種サービスの利用申請がインターネットで完結し、移動や待ち時間が不要となる。

### アバター

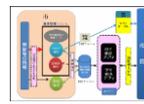
自走式の遠隔操作分身ロボット。映像や音声が届くほか、操作することで自由に動くことができ、あたかもその場にいるように感じられる。



現地への移動や人と直接接触せずに、観光や買い物、お見舞い、見学などが可能となる。

### 健診情報(PHR) アプリ

乳幼児健診と学校検診(胎児期から中学3年生まで)の情報をデジタル化し、個人が自身の健康情報を利用することができるアプリ。



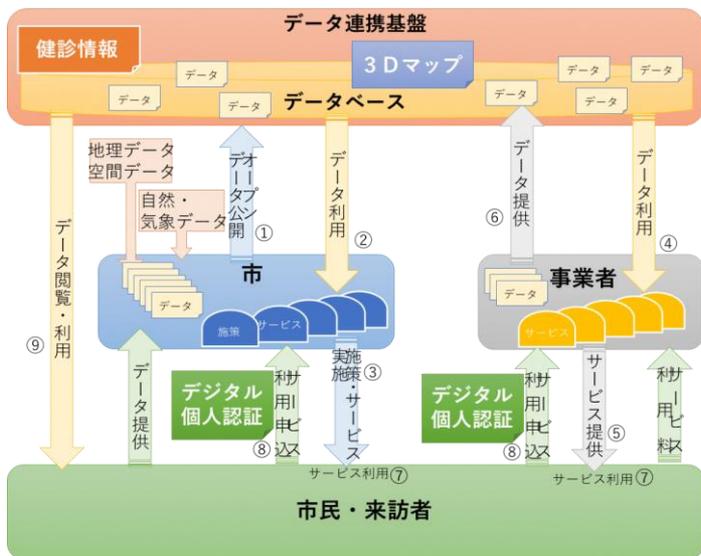
個人ごとの健康アドバイス、医療機関での健診情報提示、ビッグデータとして健康施策に利用する。

### 混雑検知 ソリューション

出入口にカメラを設置し、施設内の混雑状況を検知し、混雑情報に変換、リアルタイムの混雑状況をスマートフォンなどで確認できる仕組み。

市内温泉施設に導入し、リアルタイムの混雑状況を可視化することで、混雑緩和や三密回避に活用。

## ■ ビジネスモデル



I. 市は、各種データを収集し、利用できるデータとして公開(①)。各種データを活用し(②)、利便性が高く最適化された施策・サービスを実施(③)。

II. 民間事業者は、各種データを活用し(④)、より利便性の高いサービスを開発し提供(⑤)。収集されたデータを提供(⑥)。

III. 市民・来訪者は、市や民間事業者より、便利で最適化された施策・サービスを利用(⑦)。サービス利用時にはデジタル個人認証により、オンラインで手続きができるほか(⑧)、自身の情報やアクセス記録はいつでも確認可能(⑨)。

## ■ スケジュール

|          | 2020(R2) |    |    |    |                                     |    | 2021(R3) |     |                                       |    |    |          |
|----------|----------|----|----|----|-------------------------------------|----|----------|-----|---------------------------------------|----|----|----------|
|          | 4月       | 5月 | 6月 | 7月 | 8月                                  | 9月 | 10月      | 11月 | 12月                                   | 1月 | 2月 | 3月       |
| ドローン活用   |          |    |    |    | ・測量計画<br>・測量実施(ドローン)<br>・3Dマップ作成、取込 |    |          |     | ・3Dマップ公開<br>・3Dマップ航路生成<br>・ドローン自動飛行実証 |    |    |          |
| デジタル個人認証 |          |    |    |    | ・アプリ作成                              |    |          |     | ・検証                                   |    |    | ・アプリリリース |
| 健診情報     |          |    |    |    | ・アプリ作成                              |    |          |     | ・データ取り込み<br>・検証                       |    |    | ・アプリリリース |
| アバター活用   |          |    |    |    | ・窓口業務                               |    |          | ・教育 |                                       |    |    | ・その他活用検討 |

|         | 2020(R2)                              | 2021(R3)                        | 2022(R4)                         | 2023(R5)               |
|---------|---------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|------------------------|
|         | データ連携基盤                               | ・デジタル個人認証アプリ作成<br>マイナンバー・加賀ポータル | ・各種データの取得、連携<br>・オープンデータ<br>電子申請 | ・連携サービス拡大              |
| MaaS    | ・MaaSコンソーシアム<br>・MaaS構想検討<br>・走行データ収集 | ・関係事業者等調整<br>旅館等のバス最適化          |                                  | ・MaaS完全無料化<br>・エアモビリティ |
| ドローン活用  | ・3Dマップ作成範囲拡大<br>・自動飛行実証<br>・3Dマップ公開   |                                 |                                  | ・各種データの収集、連携、公開        |
| 商業・観光振興 | ・キャッシュレス                              |                                 | ・アバターを使ったショッピング、観光検討             | ・エアモビリティ               |
| 健康・医療   | ・健診情報アプリ作成<br>・AI問診                   | ・健診情報取得、取り込み<br>・健診情報アプリ利用周知    |                                  | ・健診情報取得<br>・健診情報活用     |
| エネルギー   | ・RE100<br>・自治体新電力事業                   | ・再生可能エネルギー活用調査                  |                                  |                        |
| その他     | ・アバター活用実証(窓口、教育)<br>・ICT教育、オンライン教育    |                                 | ・空飛ぶタクシー検討<br>(発着基地、航空法等)        |                        |

